

## 1 契約締結時の案内

日本への入国・帰国（以下、「入国」という。）に当たって、以下の事項について、別添2～4を活用して説明。

### ① 検査証明書の提示

すべての入国者・帰国者について、出発前72時間以内に新型コロナウイルスに関する検査を受け、現地医療機関等から「陰性」であることを証明する検査証明書を取得し、入国時に提示する必要があること。

### ② 検疫所が確保する宿泊施設での待機と検査の実施（赤字の新たな追加国・地域については、2021年12月24日午前0時（日本時間）から施行。）

- ・ エスワティニ、ジンバブエ、ナミビア、ボツワナ、南アフリカ共和国、レソト、ザンビア、マラウイ、モザンビーク、アンゴラ、コンゴ民主共和国に滞在歴のある入国者・帰国者については、入国後、検疫所が確保する宿泊施設において待機し、待機3日目、6日目及び10日目に再度検査を受ける必要があること。待機3日目、6日目及び10日目の検査で陰性と判定された場合には、宿泊施設を退所し、入国後14日間は自宅等で待機する必要があること。
- ・ 英国、オランダ、イタリア、韓国、ドイツ、ポルトガル、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、米国（対象地域のみ※）、**フランス**に滞在歴のある入国者・帰国者については、入国後、検疫所が確保する宿泊施設において待機し、待機3日目及び6日目に再度検査を受ける必要があること。待機3日目及び6日目の検査で陰性と判定された場合には、宿泊施設を退所し、入国後14日間は自宅等で待機する必要があること。ペルーに滞在歴のある入国者・帰国者については、2021年12月23日午前0時（日本時間）まで、イスラエル、オーストラリア（ニューサウスウェールズ州、北部準州）については12月24日午前0時（日本時間）まで上記の措置が適用されること。

※米国における対象地域：ニューヨーク州、ハワイ州

- ・ アルゼンチン、ケニア、パキスタン、ブラジル（対象地域のみ※）、チェコ、カナダ（対象地域のみ※）、ベルギー、オーストリア、スペイン、ナイジェリア、スイス、仏領レユニオン島、アイルランド、ガーナ、米国（対象地域のみ※）、インド（対象地域のみ※）、ギリシャ、オーストラリア（対象地域のみ※）、クロアチア、アイスランド、チリ、キプロス、フィンランド、エストニア、スロベニア、レバノン、タンザニア、ペルー、**ハンガリー、イスラエル、エジプト**に滞在歴のある入国者・帰国者については、入国後、検疫所が確保する宿泊施設において待機し、待機3日目に再度検査を受ける必要があること。待機3日目の検査で陰性と判定された場合には、宿泊施設を退所し、入国後14日間は自宅等で待機する必要があること。ペルー、米国（デラウェア州、ミシガン州）、オーストラリア（クイーンズランド州、ビクトリア州）については12月23日午前0時（日本時間）から上記の措置が適用されること。カナダ（ケベック州）、ルーマニアについては12月22日午前0時（日本時間）まで、フランスについては12月24日午前0時（日本時間）まで上記の措置が適用されること。

※ブラジルにおける対象地域：サンパウロ州

※カナダにおける対象地域：オンタリオ州、アルバータ州、ブリティッシュコロンビア州、ニューブランズウィック州、ノバスコシア州

※米国における対象地域：カリフォルニア州、コロラド州、ミネソタ州、コネチカット州、ネブラスカ州、ペンシルベニア州、

マサチューセッツ州、ミズーリ州、メリーランド州、ワシントン州、ルイジアナ州、テキサス州、ワシントンD.C.、アリゾナ州、

デラウェア州、ミシガン州

※インドにおける対象地域：カルナータカ州、マハーラーシュトラ州、ラジャスタン州、ケララ州

※オーストラリアにおける対象地域：首都特別地域、クイーンランド州、ビクトリア州、**ニューサウスウェールズ州、北部準州**

## ③ 誓約書の提出

以下の事項を誓約した誓約書を提出する必要があること。

- ・ 入国後14日間は自宅又は宿泊施設で待機すること、また、公共交通機関を使用しないこと
- ・ 入国後14日間毎日、入国者健康確認センターに健康状態の報告を行うこと
- ・ 地図アプリ機能等により位置情報を保存すること等

## ④ 水際対策強化に係る新たな措置（21）及び（21）による待機について

- ・ 水際対策強化に係る新たな措置（17）に基づいて、検疫所が確保する宿泊施設での6日間又は3日間の待機対象となっている指定国・地域からの入国・帰国者のうち、以下の条件を満たす場合には、検疫所が確保する宿泊施設での待機及び検疫所長の指定する場所での検査を求めず、自宅等で14日間待機する必要があること。
  - ・ 過去14日以内に「水際対策強化に係る新たな措置（20）に基づくオミクロン株（B.1.1.529 系統の変異株）に対する指定国・地域」に滞在していないこと
  - ・ 検疫所から配布された抗原定性検査キットを使用して、入国後3日目、6日目、10日目に自主検査を実施し、その結果を指定のアプリ等により厚生労働省入国者健康確認センターへ報告すること

トリニダード・トバゴ、ベネズエラ、ウクライナ、ウズベキスタン、エクアドル、コスタリカ、コロンビア、スリナム、ドミニカ共和国、トルコ、ネパール、ハイチ、フィリピン、モロッコ、モンゴル、ロシア（対象地域のみ※）からの入国者・帰国者については上記④の措置が適用されること（アルゼンチンに滞在歴のある入国者・帰国者については、2021年12月23日午前0時（日本時間）まで、上記の措置が適用されること）。

※ロシアにおける対象地域：沿海地方、モスクワ市

## 2 誓約書等の配布

検疫所から要望があった場合には、機内で誓約書やそれに関連する書類を配布し、それらの書類を検疫官等に提出する必要があることを説明。